

大阪府・大阪市経済動向報告会 講演(2月)

「内外潮流変化とイノベーションの加速 ～関西の事業機会～」

MRI 三菱総合研究所

2024年2月16日

高橋 朋幸

本日の内容

I. 内外潮流変化と事業機会

II. 2024年の日本経済を取り巻く環境

III. 大阪・関西の飛躍に向けて

IV. イノベーションの加速

I . 内外潮流変化と事業機会

先行きの不確実性が高まる世界経済

国際社会の多極化

先行きの不確実性が高まる世界経済

サプライチェーンの脆弱性の顕在化

債務依存度の高まり

I. 内外潮流変化と事業機会

不確実性をもたらす3つの構造要因

国際社会の多極化

- 西側とは政治体制や価値観の異なる国の台頭



出所) 実績はIMF、予測は三菱総合研究所

経済の外部依存化

- 輸入依存度の上昇
 - 1990年 6%
 - 2022年 24% (世界平均)
- 政治体制の異なる国からの輸入拡大(輸入相手国との民主主義指数の差)
 - 1995年 1.3ポイント
 - 2018年 2.2ポイント (世界平均)

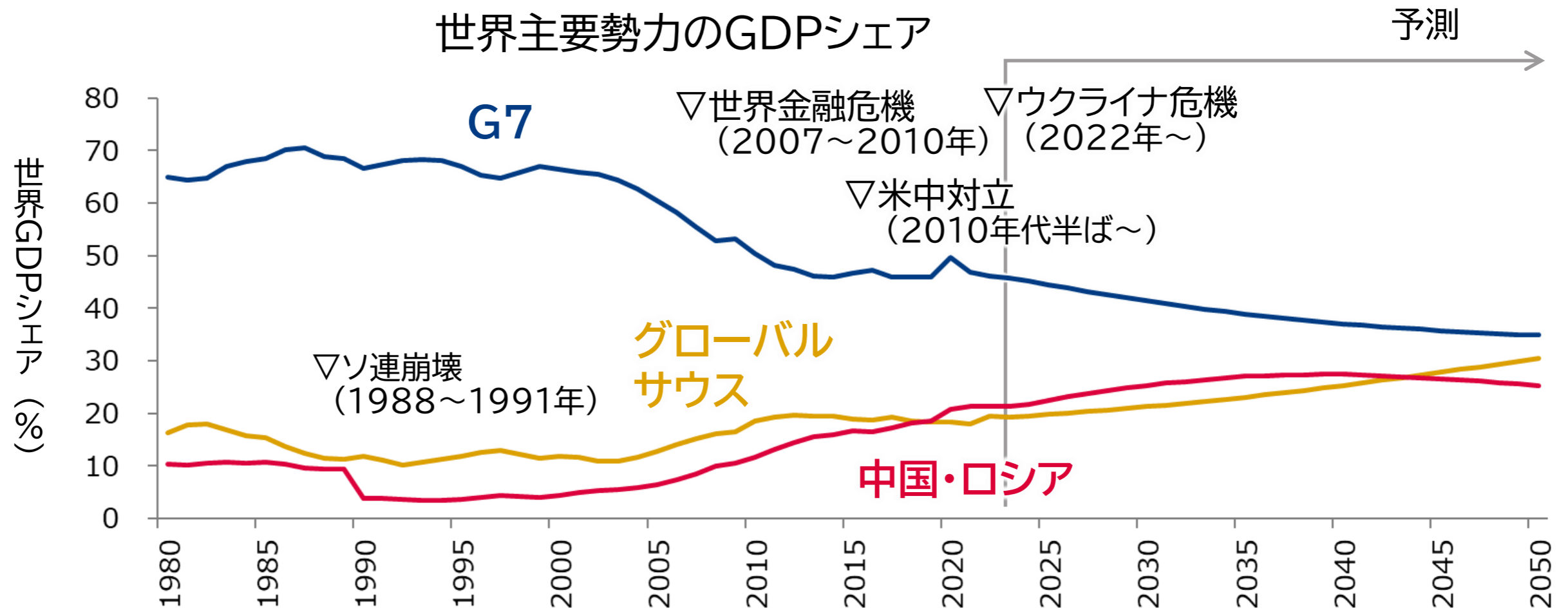
※民主主義指数は、各国の政治体制について独裁主義から民主主義まで1.00~9.99でスコアリングしたもの。
出所) EIU(エコノミスト・インテリジェンス・ユニット), Democracy Indexの2006-2020年平均より作成

債務・金融の拡大

- 世界の非金融部門の負債はGDP比250%へ(第二次世界大戦後最大)
- 米国・ユーロ圏・日本のマネーサプライはGDP比100%超へ

I. 内外潮流変化と事業機会

世界主要勢力のGDPシェア

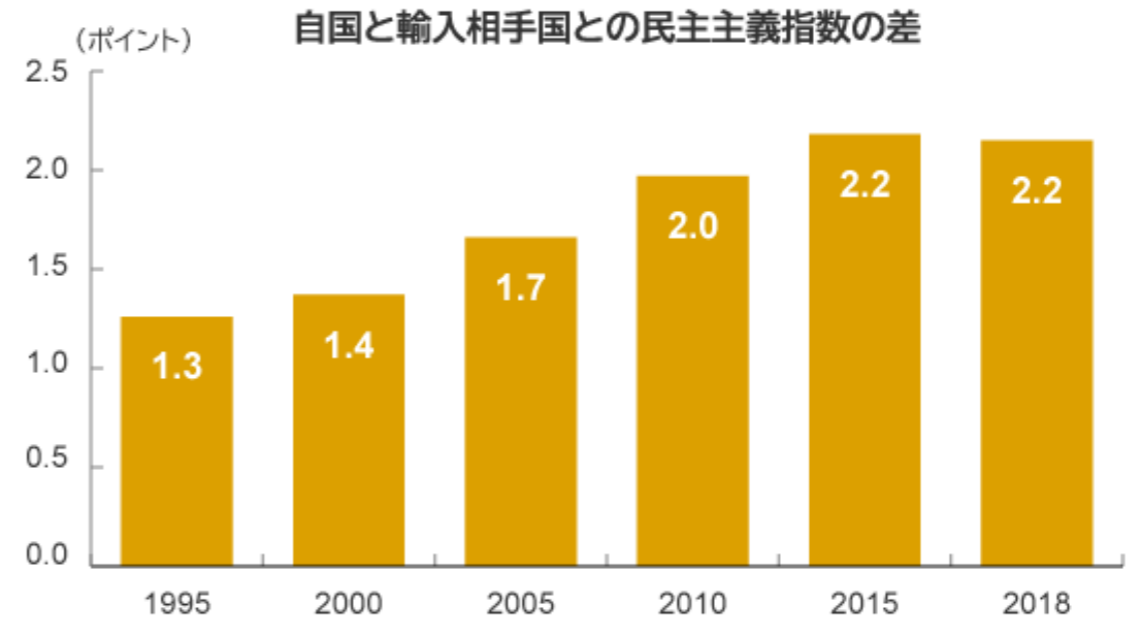
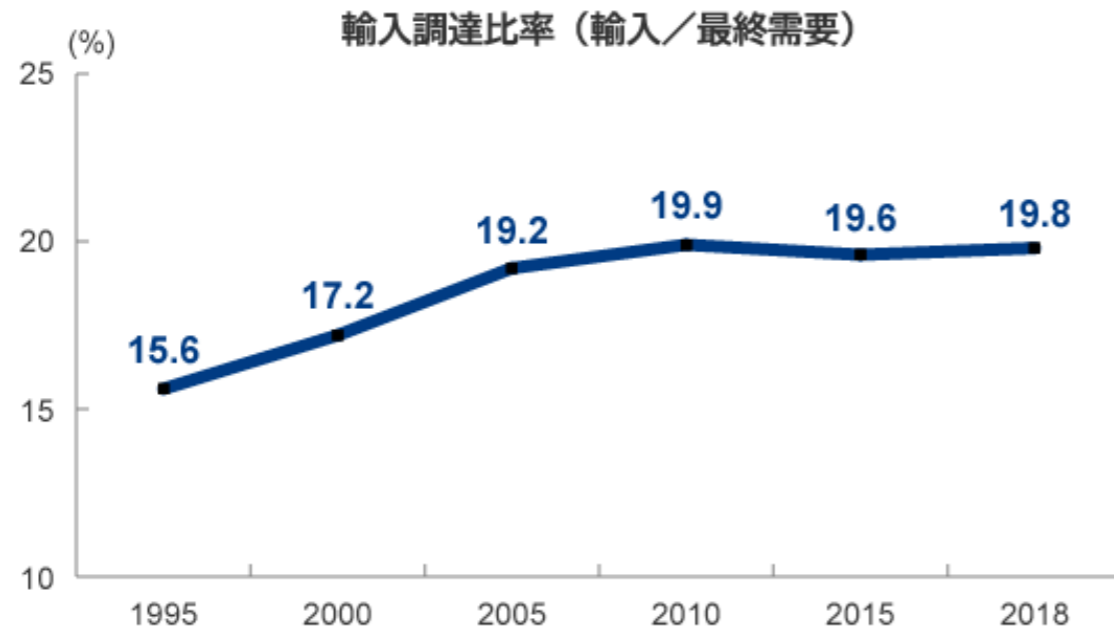


注) ロシアについて、1989年以前は旧ソ連のデータを接続。

出所) 実績の1980年以前はMaddison Historical Statistics、1980年以降はIMF、予測は三菱総合研究所

I. 内外潮流変化と事業機会

グローバルサプライチェーン拡大の背景は？



出所)三菱総合研究所 「グローバルサプライチェーン再構築によるコスト変化「輸入調達距離」と「民主主義指数」による分析」(2023.5.18)
<https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/20230518.html>

不確実性を緩和するための各国の取り組み

国際社会の多極化



第三極との連携強化

- グローバルサウスに対して東西両陣営から秋波
- 米国：民主主義サミット、IPEF、I2U2
- 中露：BRICS拡大、上海協力機構

経済の外部依存化



デリスキング

- **Small Yard, High Defense**
(戦略的に重要な分野の輸出・投資規制)
- 国内投資への補助金

債務・金融の拡大



デレバレッジ

- コロナ禍で拡張した財政の立て直し
- 金融引き締めによるマネーサプライの抑制

II. 2024年の日本経済を取り巻く環境

Ⅱ. 2024年の日本経済を取り巻く環境

2024年の内外の注目イベント

グローバル 新体制が見えてくる

現時点での想定

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
米国			大統領選挙(11月)	
ロシア	大統領選挙(3月)			
欧州		欧州議会選挙(6月)		
インド		総選挙(4~5月)		
インドネシア	大統領選挙(2月)			
韓国		総選挙(4月)		
台湾	総統選挙(1月)			

出所) プレスリリース、発表資料等を参考に三菱総合研究所作成

Ⅱ. 2024年の日本経済を取り巻く環境

2024年の内外の注目イベント

国内 変革への取り組み

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
社会		物流業、建設業、医師に 改正労働基準法適用(4 月)		「マイナ保険証」へ移 行(12月)
金融	新NISA開始(1月) GX経済移行債発行(2 月頃)		新紙幣発行(7月)	

Ⅱ. 2024年の日本経済を取り巻く環境 1. 2024年の内外の注目イベント

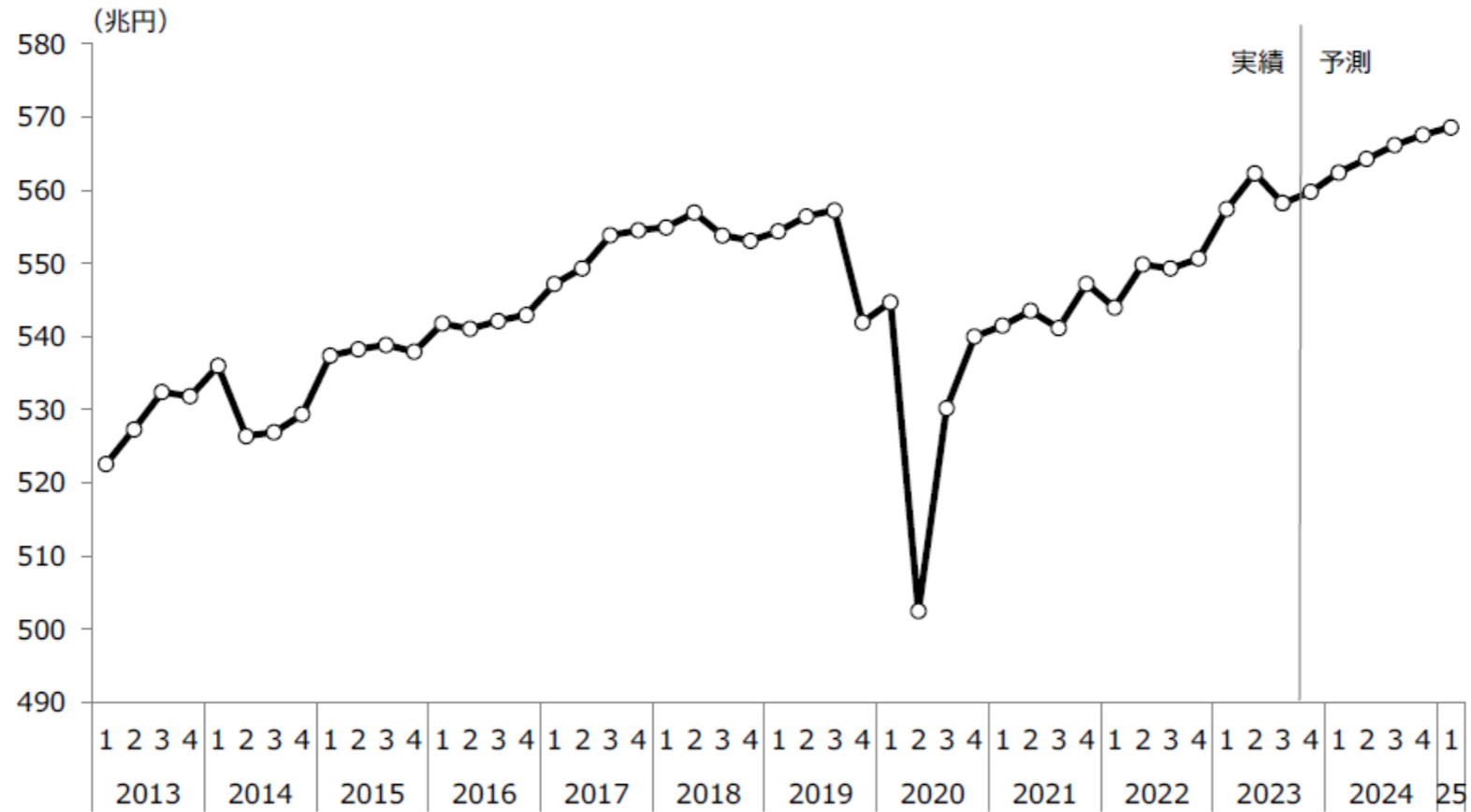
2024年の内外の注目イベント

大阪・関西 飛躍への基盤

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
拠点		未来医療国際拠点 (春頃)	うめきた2期先行まち 開き(9月) 甲子園100周年(9月)	
インフラ	北陸新幹線敦賀延 伸(3月)		関西国際空港開港30 年(9月)	

Ⅱ. 2024年の日本経済を取り巻く環境

日本の実質GDP 見通し



出所:実績は内閣府、予測は三菱総合研究所

出所)三菱総合研究所「2023年7-9月期2次QE後「内外経済見通し」改定値」2023年2月8日

Ⅱ. 2024年の日本経済を取り巻く環境

2024年の日本経済の展望 ポイント

先行きの不確実性が高まる世界経済

国際社会の多極化、サプライチェーンの脆弱性の顕在化、債務依存度の高まり

日本経済は「デフレ完全脱却」に向け重要局面に

2024年後半には、政府がデフレ脱却の判断材料として例示した4指標が、33年ぶりに安定的にプラスに転じる見込み

デフレ完全脱却の先に持続的成長の実現を

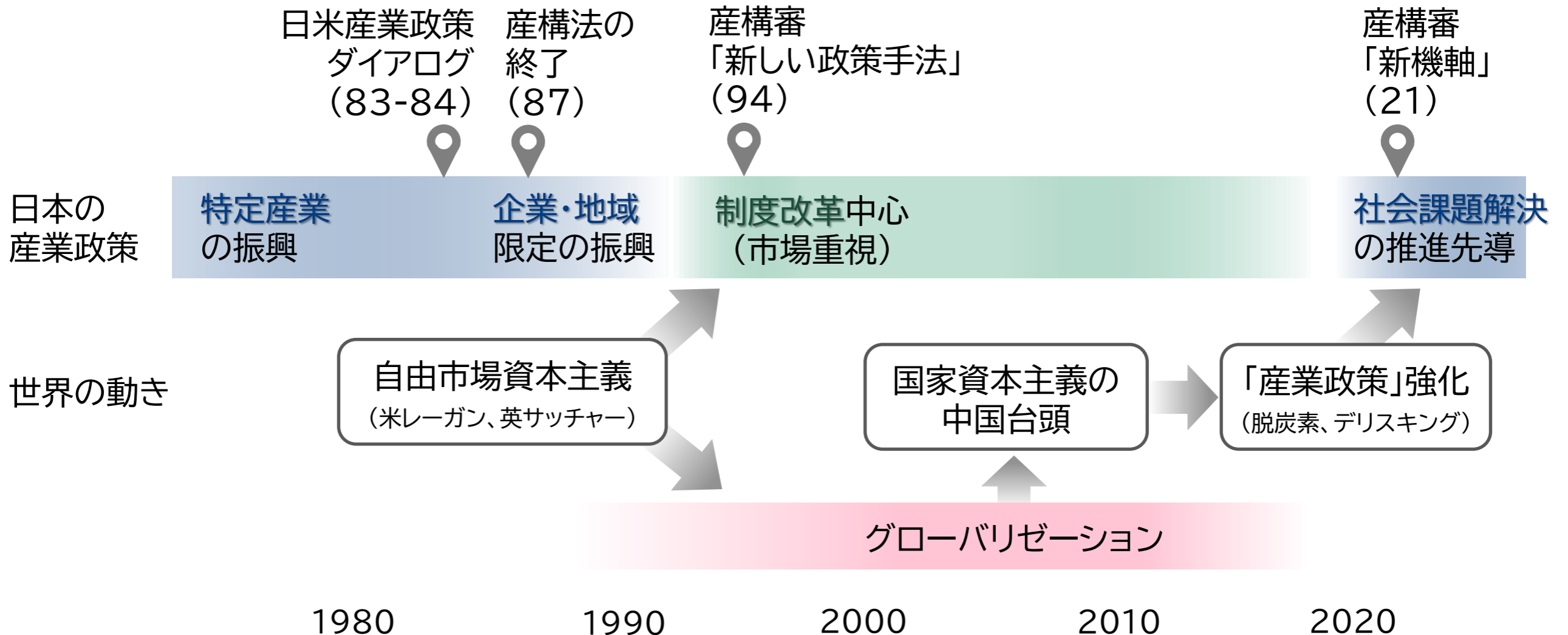
デフレ完全脱却は日本経済のゴールではない持続的な経済成長の実現こそが真のゴール

2024年の干支は「辰」

振動の「振」のつくりであり、草木が盛んに伸びる、整うという意味

Ⅱ. 2024年の日本経済を取り巻く環境

日本の「産業政策」が約30年ぶりに変化



II. 2024年の日本経済を取り巻く環境

内外潮流変化と事業機会

グローバル
新体制が見えてくる

国内
変革への取り組み

大阪・関西
飛躍への基盤

各イベントは
日本経済の展望と連動



大阪・関西飛躍への
基盤として活用

投資

イノベーション

所得向上

Ⅲ. 大阪・関西の飛躍に向けて

Ⅲ. 大阪・関西の飛躍に向けて

万博レガシー

開催1年前を迎える、万博レガシーをどう残していくか、つなげていくか

- 「ベスト・プラクティス」での分野、テーマ(問い)、テーマ領域は未来につなげるヒントが多い
- 「8つのテーマ事業」を未来のビジネス機会として考えてはどうか

Ⅲ. 大阪・関西の飛躍に向けて

スタートアップ連携

大阪・関西でスタートアップ連携を推進ポテンシャル

- 関西でも、多くのスタートアップ支援施設が存在
- 産官学金が連携するプラットフォームも存在
- 自治体・経済団体のスタートアップ支援メニューも多彩
- 大学発ベンチャーの取り組みも盛ん

Ⅲ. 大阪・関西の飛躍に向けて

大阪・関西の飛躍に向けて

万博レガシー

スタートアップ連携

ベストプラクティス



社会課題解決
を実践、実装

投資

イノベーション

IV. イノベーションの加速

IV. イノベーションの加速

イノベーションとスタートアップ

近年、「イノベーションによる社会課題解決」への期待の高まり

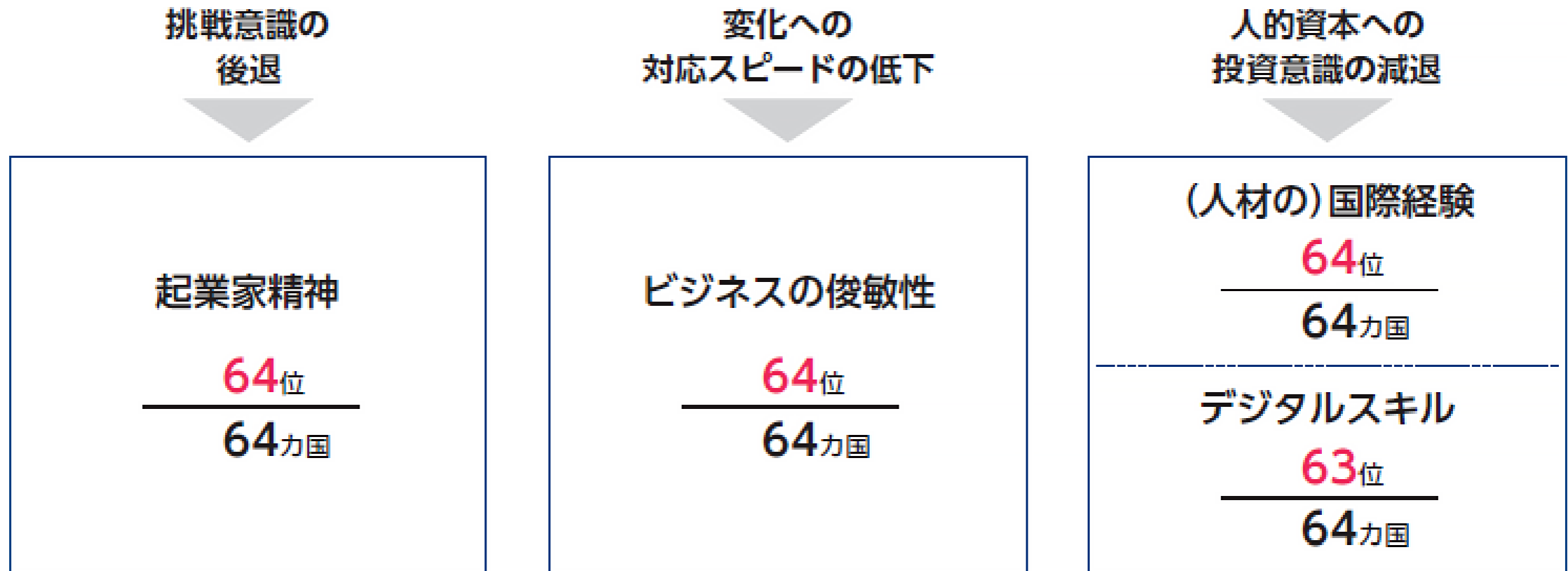
- 「技術革新」にとどまらず、「新たな価値」を見出すもの
- 「未来像」とそこに向けた「到達への方策」または「課題解決方策」を提示しているもの

インパクト投資

- 「インパクト投資とは、財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的及び環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資行動を指します。」(GSG国内諮問委員会)
- インパクトスタートアップへの期待

IV. イノベーションの加速

変革の遅れで日本の競争力は「最下位」に



出所: IMD「世界競争力年鑑」2023年版より三菱総合研究所作成

IV. イノベーションの加速

どのような社会課題解決を目指すか

「三菱総合研究所」が描く理想の未来社会



IV. イノベーションの加速

どのような社会課題解決を目指すか

社会課題INDEXの会員向け公開

ウェルネス

- ① 生活習慣病による医療費の増大
- ② 医療サービスへのアクセスが不十分
- ③ 介護人材の不足が深刻化
- ④ メンタルヘルスを損なう人の増大
- ⑤ 女性の健康リスクが増大
- ⑥ 孤独・孤立による弊害の深刻化
- ⑦ パンデミックの頻発・深刻化

水・食料

- ① 食料供給力の低下
- ② 需要構成の変化に伴う食料調達困難
- ③ 利用可能な水資源の不足
- ④ 食品ロスの弊害が深刻化
- ⑤ 豊かな社会に残る不健康な食
- ⑥ 「食」のダイバーシティへの期待
- ⑦ コミュニケーションに「食」を活かす

エネルギー・環境

- ① エネルギー供給側の脱炭素の加速が必要
- ② 需要側にも省エネ・脱炭素の余地大
- ③ 資源のリサイクル、有効利用が不十分
- ④ 環境汚染・破壊の深刻化
- ⑤ 生物多様性の損失

モビリティ

- ① 車中心の交通システムがもたらす負の効用
- ② 需要増加に対する物流処理能力不足
- ③ 交通が不便な地域の拡大
- ④ デジタル技術による移動の急速な変化

防災インフラ

- ① 自然災害への備え、対応が不十分
- ② 社会インフラのマネジメントが不十分
- ③ 空き家の増加がもたらす都市荒廃
- ④ サイバー攻撃の増加・深刻化

教育・人財育成

- ① 時代が求めるスキルの習得が不十分
- ② 学び直しを行う社会人が少ない
- ③ フィルターバブル＝情報の氾濫と偏り
- ④ 人財のダイバーシティが不足

IV. イノベーションの加速

どのような社会課題解決を目指すか

ウェルネス

(1)生活習慣病による医療費の増大

生活「習慣」だからこそ行動変容は難しい

(2)医療サービスへのアクセスが不十分

医療資源は「不足」ではなく「偏在」している

(3)介護人材の不足が深刻化

理想の老後に必要な科学的介護と科学的介護予防

(4)メンタルヘルスを損なう人の増大

心の健康ケアを、すべてのひとに

(5)女性の健康リスクが増大

「活躍したいのにできない」女性たち

(6)孤独・孤立による弊害の深刻化

孤独・孤立は健康に悪い

(7)パンデミックの頻発・深刻化

感染症が社会・経済を脅かす

IV. イノベーションの加速

どのような社会課題解決を目指すか



生活習慣病は日本の死因の6割を占め、
コロナ禍でリスクが増大している



- ①病気になる前の人たちの生活習慣を改善
- ②生活習慣病の患者が重症化を予防するには「行動変容」が必要



さまざまなバイオマーカーにより、
リスクの事前把握・早期発見、保険
商品によるインセンティブの付与

IV. イノベーションの加速

オープンイノベーションにより社会課題をビジネスで解決する



多様性に富むマルチステークホルダーが参加

企業	製品・サービスの開発、販売のインフラ	122
スタートアップ	先進技術に強く経営の機動力が高い	228
自治体	地域の具体的課題に取り組む	147
大学・研究機関	基礎から応用までの最先端技術に強い	111
官公庁	政策・制度面からの様々なサポート可能	

IV. イノベーションの加速 2. 社会課題解決の推進

ビジネスアクセラレーションプログラム紹介

目的

有望なスタートアップの発掘・支援を通じてMRI・ICF会員との共創を促進し、社会課題を解決する

募集期間

7月4日(火)～8月22日(火)

応募内容

ICFが重点的に取り組む6分野(「ウェルネス」「水・食料」「エネルギー・環境」「モビリティ」「防災・インフラ」「教育・人財育成」)をベースに、「100億人が100歳まで豊かに暮らせる持続可能な社会」の実現に寄与する社会課題ソリューション(ビジネスアイデア)を募集

評価基準

- ①社会的インパクト(解決する社会課題の深刻度やボリューム)
- ②事業性(ビジネスの特徴・優位性)
- ③チーム(メンバーの熱意、事業推進力など)

IV. イノベーションの加速 2. 社会課題解決の推進

社会課題解決を目指すスタートアップ

<最優秀賞(ICF 賞)> (審査の視点:ICF が提唱する未来社会像の実現に最も貢献し得る)

提案者: Sustineri 株式会社

提案タイトル: 商品・Web サービスの自動カーボンニュートラル化

受賞理由: 温暖化は地球の大きな問題。そこから派生するさまざまな課題を行動変容で解決していくことは非常に重要。
CO2 排出量自動算定とカーボンオフセットができる API により、既にさまざまなエコシステムを作り始めている

<最優秀賞(三菱総研賞)> (審査の視点:MRI が描く事業戦略の実現に最も連携強化が期待される)

提案者: 株式会社ノビアス

提案タイトル: 行動変容を促す実感性の高いヘルスケアサービスの普及

受賞理由: 健康経営は大きな社会課題。体内ミネラル量を数本の毛髪で手軽に計測するサービスにより、個人の健康データを集め、予防のための行動変容につなげる事業構想は、当社の社会実装パートナーとして期待できる

<オーディエンス賞> (審査の視点:当日視聴者による評価=プレゼンテーションが最も優れている)

提案者: SWAT Mobility Japan 株式会社

提案タイトル: 利用者の移動データに基づく最適な公共交通の設計と AI オンデマンド交通運行システムの提供

受賞理由: 最終審査会参加者(オンラインを含む)の投票で第1位

IV. イノベーションの加速

社会課題解決を目指すスタートアップ

<優秀賞> (審査の視点:MRI が掲げる未来社会像の実現に将来的に貢献し得る)

提案者: グランドグリーン株式会社

提案タイトル: 激変する環境に対応する未来の植物をスピーディな種苗開発で実現

受賞理由: 独自のゲノム編集技術により、食品価値向上や食品ロス削減への貢献が期待できる

提案者: 株式会社ジオクリエイツ

提案タイトル: バーチャル避難訓練: フェーズフリーな施設案内VRを関連付けて

受賞理由: 脳波や視線誘導による評価を可能とした VR ツールにより、避難訓練などの施設防災対策の高度化が期待できる

提案者: 株式会社 tayō

提案タイトル: 多様な人材の活用で、日本を再び科学立国に。

受賞理由: イノベーションの観点から研究者の潜在能力を見出すことで、産官学の人材交流活性化への貢献が期待できる

提案者: Earable Neuroscience Inc.

提案タイトル: Redefining aging with better sleep experience: AI-powered FRENZ Brainban

受賞理由: 脳波の測定・分析と骨伝導による音のフィードバックをリアルタイムかつ個別化して提供することで、睡眠の質の改善と健康増進が期待できる

IV. イノベーションの加速

イノベーションの加速

社会課題テーマ
と将来像

有望なスタートアップ
の発掘・支援

大阪・関西のポテンシャル

イノベーションの加速



「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現

インパクト投資

共創イノベーション

地域活性化

本日のまとめ

I. 内外潮流変化と事業機会

- 不確実性が高まる世界経済
- 持続的成長の実現
- 海外・国内で重要なイベント

II. 2024年の日本経済を取り巻く環境

- 2024年の内外の注目イベント
- 新機軸

III. 大阪・関西の飛躍に向けて

- 万博レガシー
- スタートアップ連携

IV. イノベーションの加速

- インパクト投資の高まり
- 社会課題解決を目指すスタートアップ

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所